

環境実績報告

工場名：長野工場

報告範囲：長野工場

所在地：長野県上伊那郡箕輪町大字三日町482-1

報告対象期間：2012年4月1日～2013年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 武藤 克寿（環境保全部・生産技術部 次長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2013年度目標
1	地球温暖化防止対策	CO ₂ の排出量 1%抑制(2011年度・原単位比)	月平均=112.4t-CO ₂ /m ³ 、+3.1%増	×	CO ₂ の排出量 1%抑制(2012年度・原単位比)
		電気エネルギー使用量 1%削減(2011年度・原単位比)	月平均=192.2kWh/m ³ 、+2.7%増	×	電気エネルギー使用量 1%削減(2012年度・原単位比)
2	省エネルギーの推進/水資源の削減	井水使用量 1%削減(2011年度・原単位比)	月平均=4.32m ³ /m ³ 、▲0.11%減	×	井水使用量 1%削減(2012年度・原単位比)
3	廃棄物の削減	総排出量 1%削減(2011年度・原単位比)	月平均=144.8t、▲5.8%減	○	総排出量 1%削減(2012年度・原単位比)
4	緊急事態の発生抑制	製造工程における排水トラブルの発生予防への取り組みとパトロール実施	0件(▲1件) 【達成】	○	製造工程における排水トラブルの発生予防への取り組みとパトロール実施
		労働災害の発生抑制(休業4日以上-0件、その他-10件以下)	1件(+1)/4件(▲3) 【未達】	×	労働災害の発生抑制(休業4日以上-0件、その他-10件以下)
		災害等緊急事態対策の検討及び実施(配管、配電図を含む工場図面の整備)	各種図面類 作成完了 【達成】	○	災害等緊急事態対策の検討及び実施(配管、配電図を含む工場図面の整備)
5	化学物質管理体制の確立	作業主任者及び法定資格者の適正配置と管理強化継続	15名養成(+9名)	○	作業主任者及び法定資格者の適正配置と管理強化継続
		環境負荷物質分析運用ルール確立と教育	実施項目策定から実施	○	-
6	地域調和活動及びボランティアの推進	生物多様性保全活動(具体的活動開始)	具体的活動なし	×	-
		環境調和活動及びボランティアへの参加推進	各種イベント参加、協賛金等	○	環境調和活動及びボランティアへの参加推進

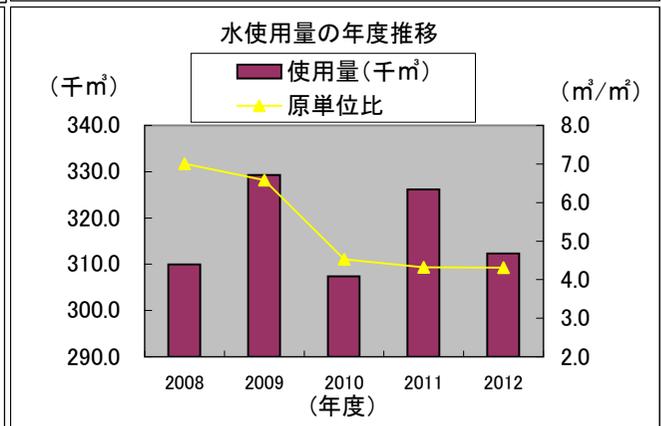
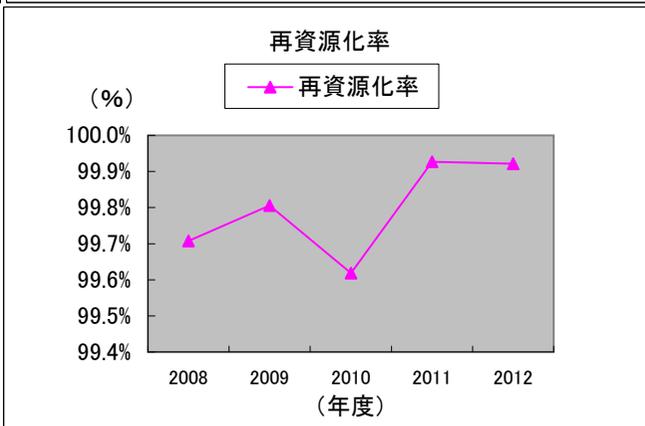
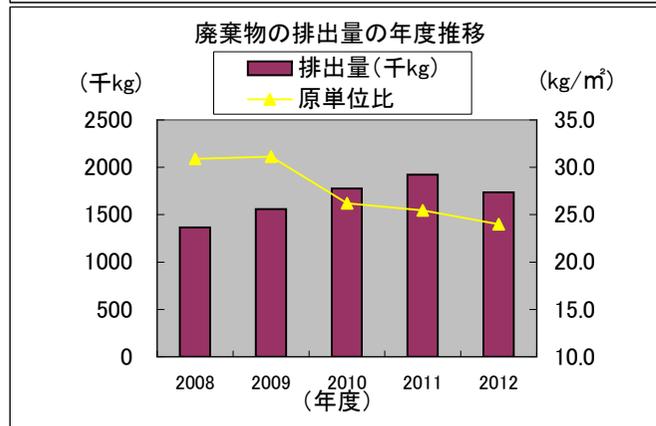
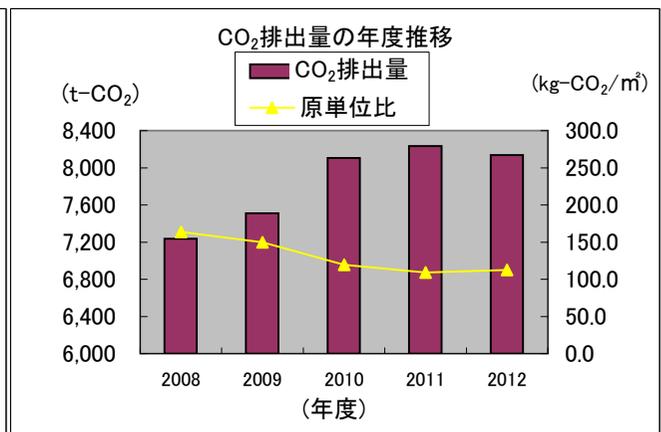
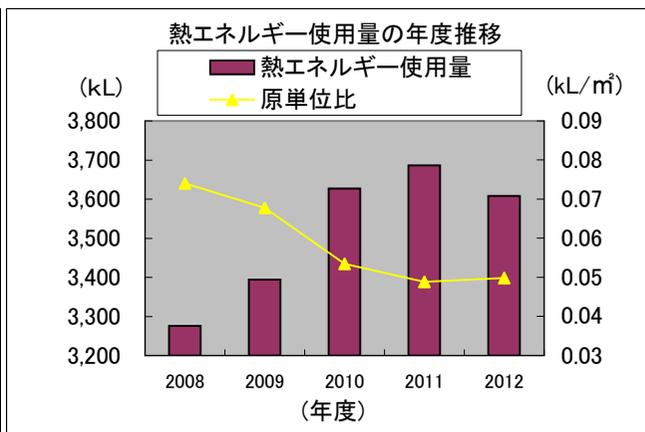
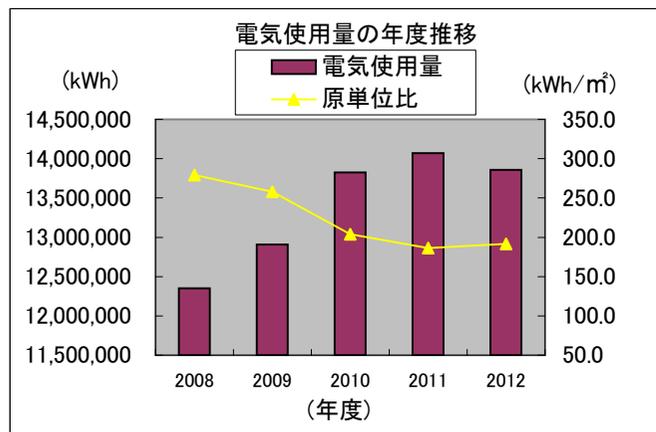
<各報告における注意事項>

- 1 原単位計算について、各工場の原単位の算出方法が異なるため、原単位比に差異があり、工場間での比較はできません。
- 2 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 3 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 4 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 5 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 6 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 7 大阪工場について、原単位算出方法を2009年度から変更したため、原単位比の数値を2008年度と2009年度以降では比較できません。
- 8 タイ工場について、2008年度まではデータを集計しておりませんでした。また、PRTR法規制対象外のため報告から除外しております。

環境負荷データ

工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果(最大値、括弧内は法規制基準値)									
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	鉛及びその化合物	砒素及びその化合物	銅	亜鉛	大腸菌群数
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³
長野工場	13,856,008	3,608	8,138	1,737	1,736	312.3	7.3-7.9 (5.8-8.6)	19(30)	5(50)	1未満 (5未満)	1未満 (30未満)	0.005未満 (0.1)	0.005未満 (0.1)	0.38(2)	0.01未満 (2)	2(3000)

CO₂排出係数:0.561

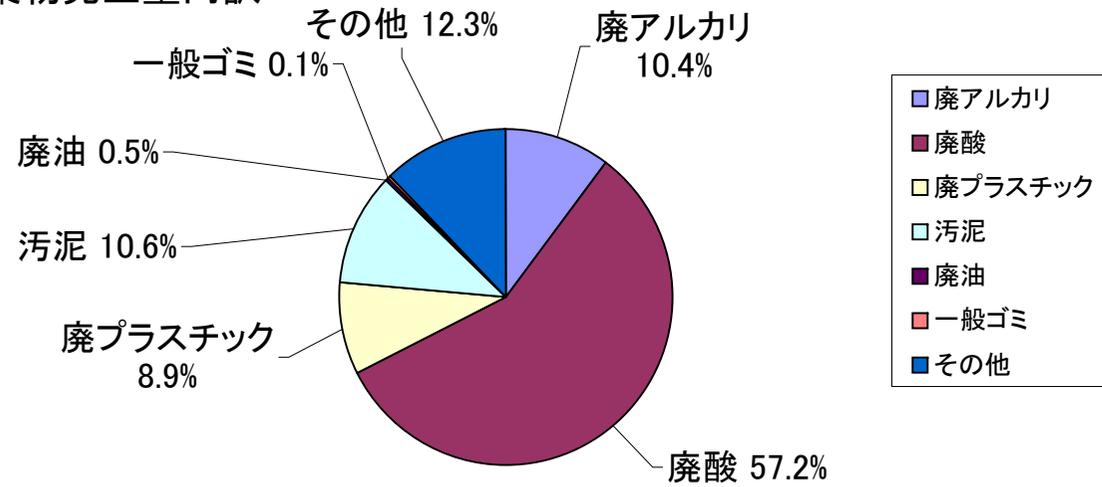


※原単位は、出荷面積です。

廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	181	10.4%
廃酸	993	57.2%
廃プラスチック	155	8.9%
汚泥	184	10.6%
廃油	9	0.5%
一般ゴミ	1	0.1%
その他	214	12.3%
合計	1,737	100%

廃棄物発生量内訳



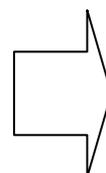
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1,400	0.5	40	0	0	40	0	1,400	1,400
71	塩化第二鉄	-								
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	68,000	0	56	0	0	56	0	4,000	4,000
291	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	1,000	0.6	12	0	0	12	0	140	140
395	ペルオキソ二硫酸の水溶性塩	31,000	0	6.8	0	0	7	0	31,000	31,000
411	ホルムアルデヒド	4,200	21	0.9	0	0	22	0	4,200	4,200

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,386 万kWh
重油	0 kL
灯油	65 kL
軽油	1 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	33 km ³
資源	
地下水	312 千m ³
上水・工水	5 千m ³
基板コア材	135,290 m ²
段ボール	23 t
化学物質	
PRTR物質	106 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	8,138 t-CO ₂
水域	
河川	278 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	1,736 t
最終処分量	1 t
PRTR物質移動量	41 t

製品	
プリント配線板	72,382 m ²

※出荷面積

環境実績報告

工場名：横浜工場

報告範囲：横浜工場

所在地：神奈川県横浜市都筑区川和町280

報告対象期間：2012年4月1日～2013年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 高橋 浩太郎（生産技術部 部長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2013年度目標
1	地球温暖化防止	電気エネルギー使用量4.0%削減 目標値8.85kWh(2011年度原単位比)	▲20.6% 10.67kWh	×	電気エネルギー使用量1.0%削減 目標値10.56kWh(2012年度原単位比)
2	地球温暖化防止	都市ガス使用量1.0%削減 目標値0.43㎡(2011年度原単位比)	▲20.9% 0.52㎡	×	都市ガス使用量1.0%削減 目標値0.51㎡(2012年度原単位比)
3	廃棄物の削減	産業廃棄物量1.0%削減 目標値2.58kg(2011年度原単位比)	▲2.7% 2.64kg	×	産業廃棄物量1.0%削減 目標値2.62kg(2012年度原単位比)
4	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 目標値0件(休業4日以上)／年	発生0件	○	労働災害の発生抑制 目標値0件(休業4日以上)／年
5	化学物質管理体制の確立	M-Quick導入・立上げ・運用開始	2013年1月運用開始	○	使用禁止物質の管理体制の徹底 パトロール・教育の実施 1回／月
6	化学物質管理体制の確立	作業主任者・法定資格者の配置図作成、掲示	2012年10月掲示完了	○	作業主任者・法定資格者の見直し 1回／年
7	地域調和活動の推進	環境調和活動及びボランティアへの参加推進(2回／年)	工場周辺の清掃、草刈実施(4回／年)	○	工場近隣の美化活動 2回／年

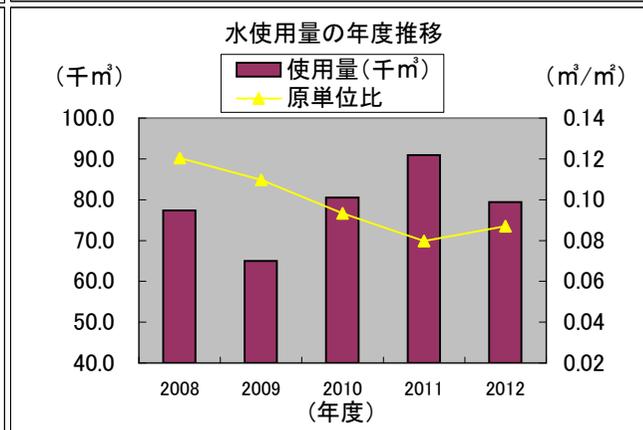
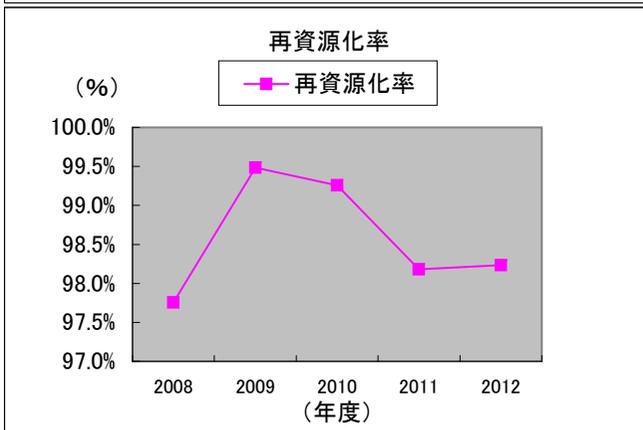
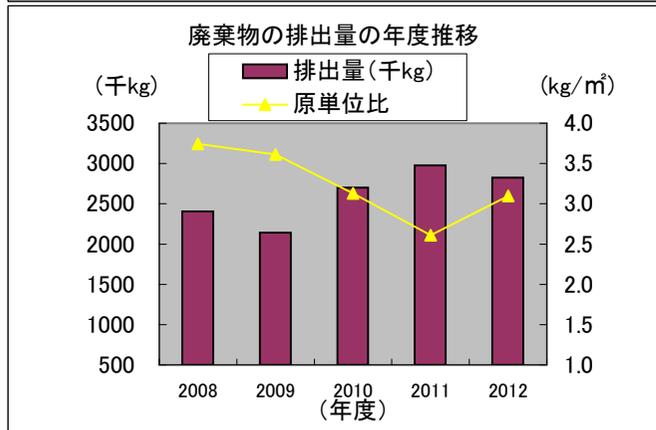
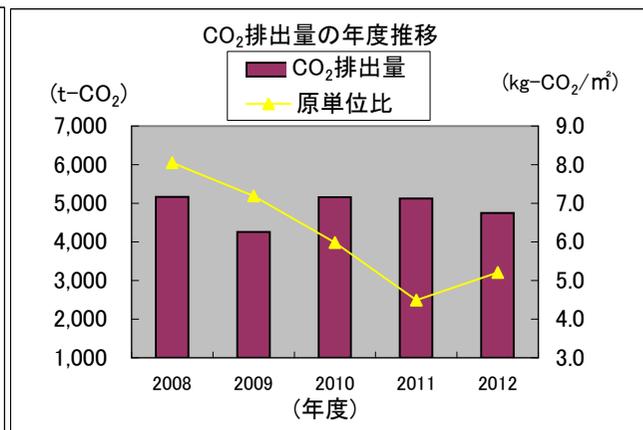
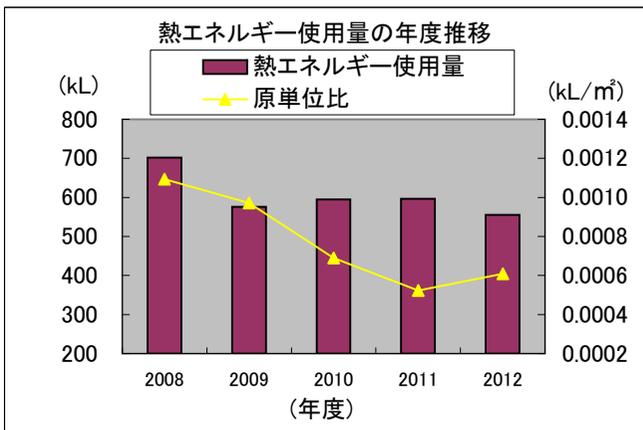
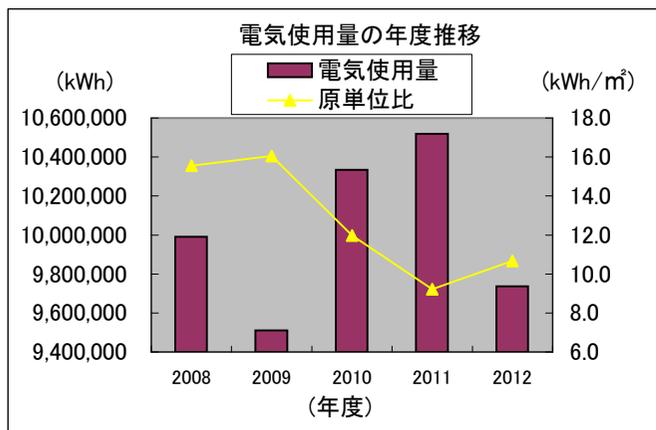
<各報告における注意事項>

- 1 原単位計算について、各工場の原単位の算出方法が異なるため、原単位比に差異があり、工場間での比較はできません。
- 2 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 3 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 4 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 5 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 6 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 7 大阪工場について、原単位算出方法を2009年度から変更したため、原単位比の数値を2008年度と2009年度以降では比較できません。
- 8 タイ工場について、2008年度まではデータを集計しておりませんでした。また、PRTR法規制対象外のため報告から除外しております。

環境負荷データ

工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果(最大値、括弧内は法規制基準値)				大気の測定実績(最大値、括弧内は法規制基準値)	
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	特定施設名:ボイラー	
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)
横浜工場	9,736,176	556	4,754	2826	2,776	79.4	7.7 (5-9)	54 (600未満)	8 (600未満)	2(5)	65(90)	1(138200)

CO₂排出係数:0.375

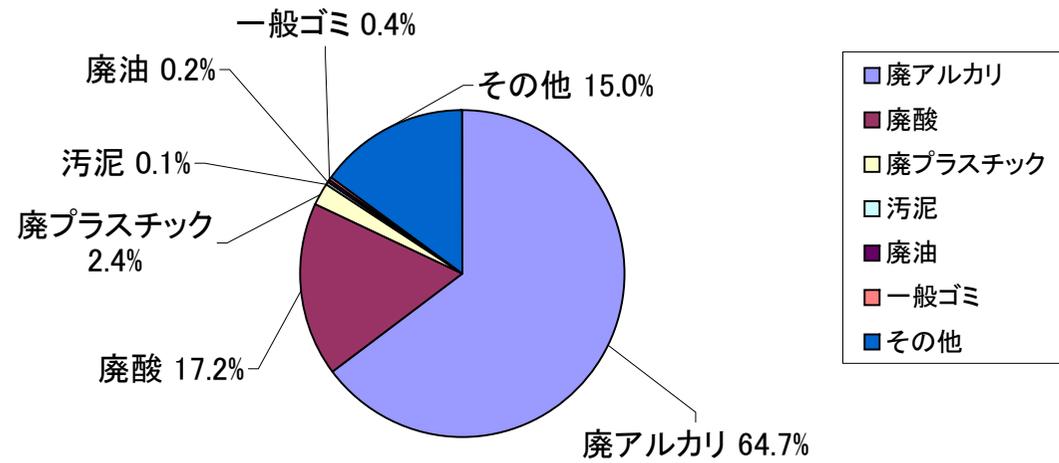


※原単位は、延べ生産面積です。

廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	1,828	64.7%
廃酸	487	17.2%
廃プラスチック	67	2.4%
汚泥	3	0.1%
廃油	6	0.2%
一般ゴミ	10	0.4%
その他	425	15.0%
合計	2,826	100%

廃棄物発生量内訳



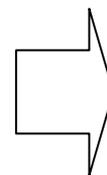
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
53	エチルベンゼン	1,000	730	0	0	0	730	0	250	250
80	キシレン	1,100	44	0	0	0	44	0	250	250
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	5,200	0	0	0	0	0	7.9	10,000	11,000
411	ホルムアルデヒド	2,800	28	0	0	0	28	0	200	200

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	974 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	471 km ³
LPG	2 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	79 千m ³
基板コア材	59,751 m ²
段ボール	8 t
化学物質	
PRTR物質	58 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	4,754 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	74 千m ³
廃棄物	
再資源化量	2,776 t
最終処分量	50 t
PRTR物質移動量	12 t

製品	
プリント配線板	37,697 m ²

※出荷面積

環境実績報告

工場名：いわき工場、茨城工場

報告範囲：いわき工場、茨城工場

所在地：いわき工場(福島県いわき市好間工業団地22-5)

茨城工場(茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺644-12)

報告対象期間：2012年4月1日～2013年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 芳賀 孝浩(技術品証本部 本部長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2013年度目標
1	省エネルギーの推進	エネルギー原単位の削減(2011年度・原単位比) いわき工場:5%削減	4%削減	×	エネルギー原単位 1%削減(2012年度・原単位比)
		エネルギー原単位の削減(2011年度・原単位比) 茨城工場:10%削減	19%削減	○	
2	資源有効活用	廃棄物の排出量 1%削減(2011年度・原単位比)	6%削減	○	廃棄物の排出量 1%削減(2012年度・原単位比)
		コピー用紙使用量 5%削減(2011年度・使用量比)	6%削減	○	コピー用紙使用量 5%削減(2012年度・使用量比)
3	製品含有化学物質管理の推進	環境品質不適合発生0件	環境品質不適合発生なし	○	環境品質不適合発生0件

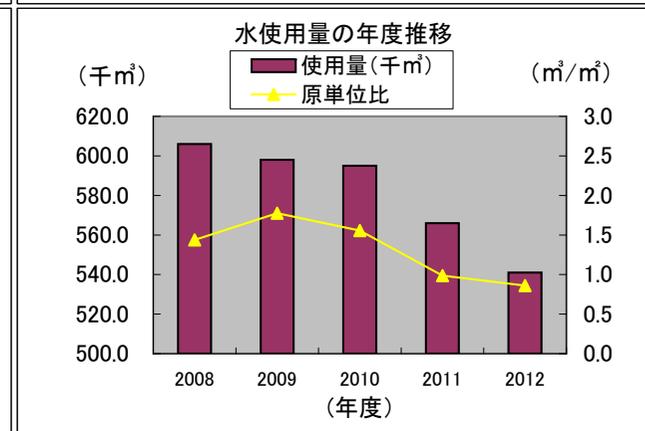
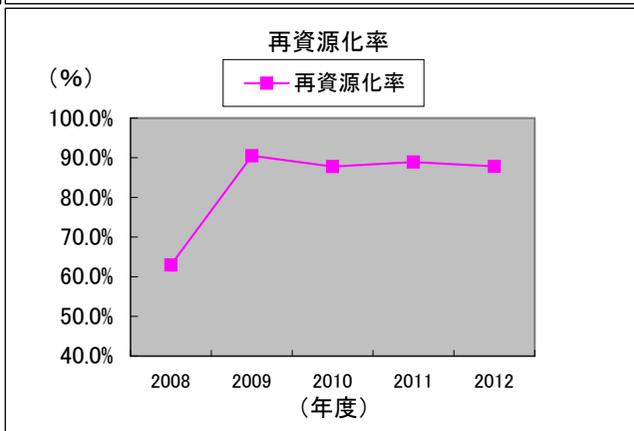
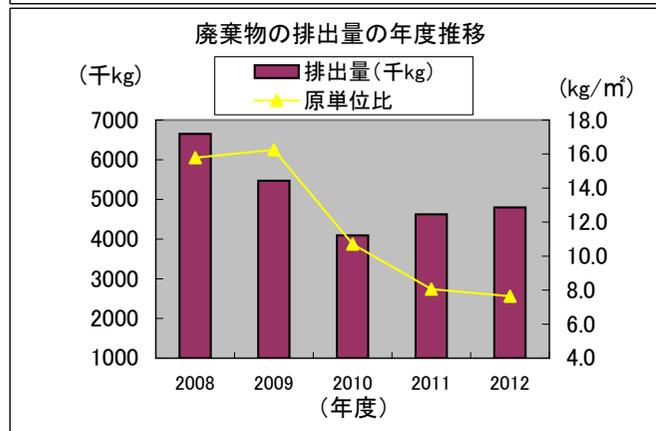
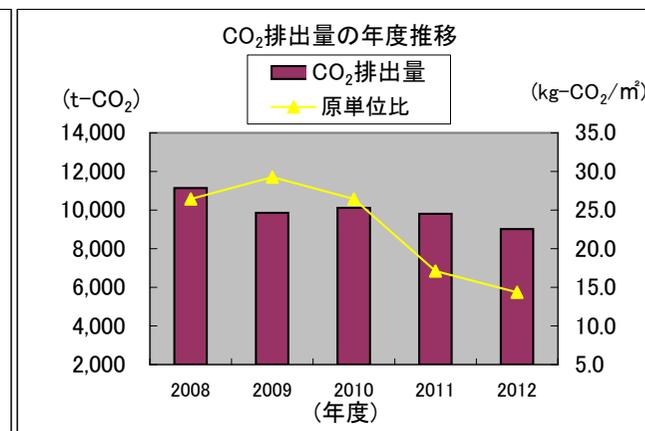
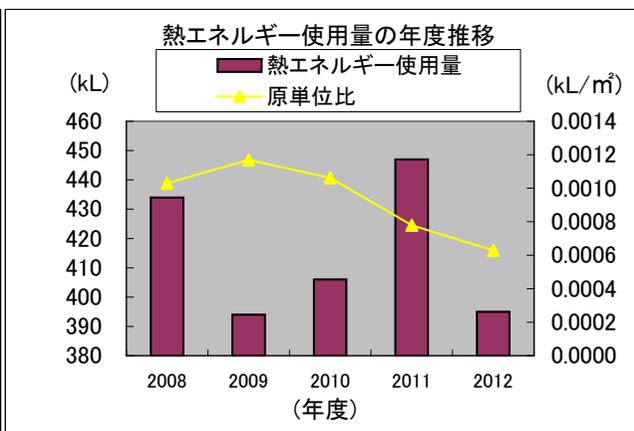
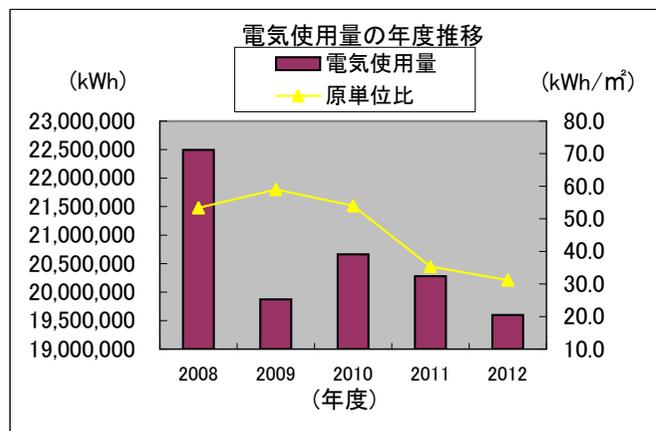
<各報告における注意事項>

- 1 原単位計算について、各工場の原単位の算出方法が異なるため、原単位比に差異があり、工場間での比較はできません。
- 2 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 3 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 4 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 5 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 6 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 7 大阪工場について、原単位算出方法を2009年度から変更したため、原単位比の数値を2008年度と2009年度以降では比較できません。
- 8 タイ工場について、2008年度まではデータを集計しておりませんでした。また、PRTR法規制対象外のため報告から除外しております。

環境負荷データ

工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果(最大値、括弧内は法規制基準値)							
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	銅含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガン含有量
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
いわき工場	19,597,467	395	9,016	4,800	4,215	541	7.8 (6-8)	7(12)	7.8(30)	-	-	0.6(1.5)	1.4(8)	-
茨城工場							7.3 (5.8-8.6)	25(25)	2.2(40)	<0.5(5)	<0.5(10)	0.2(3)	0.2(10)	0.3(10)

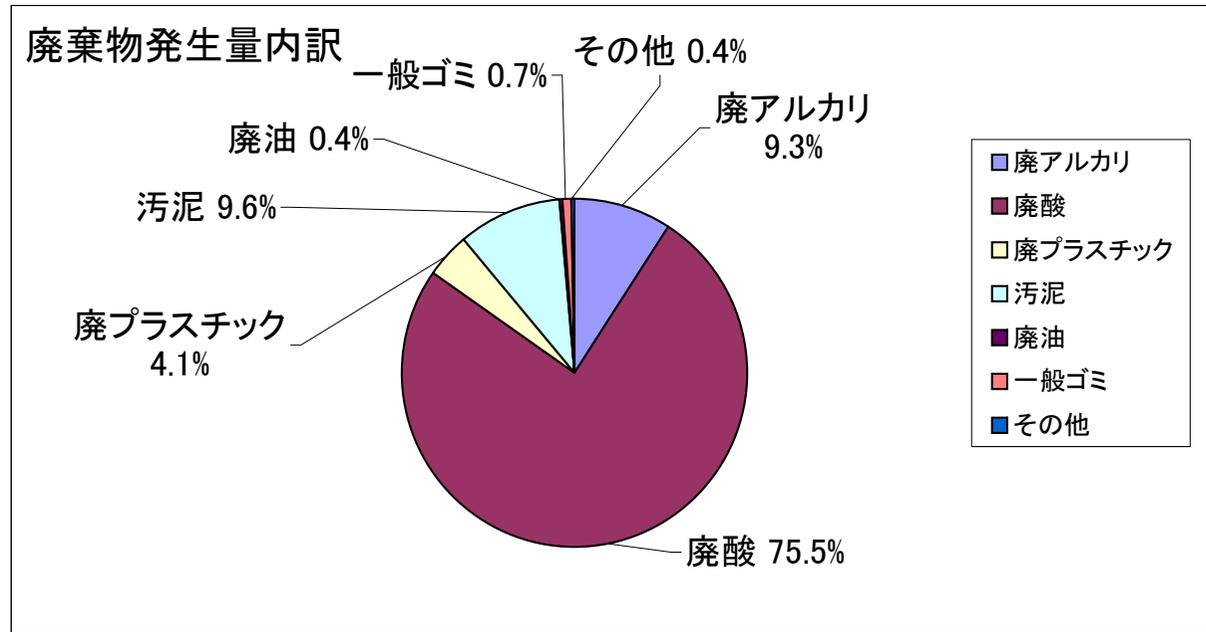
CO₂排出係数(いわき工場:0.429,茨城工場:0.384)



※原単位は、延べ生産面積です。

廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	445	9.3%
廃酸	3,625	75.5%
廃プラスチック	199	4.1%
汚泥	463	9.6%
廃油	18	0.4%
一般ゴミ	33	0.7%
その他	17	0.4%
合計	4,800	100%



PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量					移動量		
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1,100	0	0	0	0	0	0	1,100	1,100
71	塩化第二鉄	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	58,000	0	0	0	0	0	0	1,700	1,700
300	トルエン	5,400	4,300	0	0	0	4,300	0	1,000	1,000
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	27,000	0	0	0	0	0	0	5,500	5,500
405	ほう素化合物	1,400	0	0	0	0	0	0	1,400	1,400
411	ホルムアルデヒド	3,300	0	0	0	0	0	0	3,300	3,300

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,960 万kWh
重油	281 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	42 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	541 千m ³
基板コア材	423,720 m ²
段ボール	27 t
化学物質	
PRTR物質	1,146 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	9,016 t-CO ₂
水域	
河川	541 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	4,215 t
最終処分量	585 t
PRTR物質移動量	14 t

製品	
プリント配線板	341,922 m ²

※出荷面積

環境実績報告

工場名：大阪工場、めっきセンター

報告範囲：堺工場、美原工場、めっきセンター

所在地：堺工場(大阪府堺市石津町3-14-54)

美原工場(大阪府堺市美原区今井335-1)

めっきセンター(大阪府貝塚市二色中町6-7)

報告対象期間：2012年4月1日～2013年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 中 敏彦 (環境施設部 部長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2013年度目標
1	エネルギー及び資源の有効利用	電気使用量の削減(前年度比1%削減)	▲22.8%	×	電気使用量の削減(前年度比1%削減)
		水使用量の削減(前年度比1%削減)	▲16.9%	×	水使用量の削減(前年度比1%削減)
		廃棄物の削減(前年度比1%削減)	▲8.3%	×	廃棄物の削減(前年度比1%削減)
		CO ₂ 排出量の削減(前年度比1%削減)	▲21.8%	×	CO ₂ 排出量の削減(前年度比1%削減)
2	化学物質管理	KDG品質環境チェックシート運用による監査の実施	4件の訪問監査実施	○	KDG品質環境チェックシート運用による監査の実施(4件)
3	環境法令の順守	廃棄物処理委託先の視察・確認等による適正処理実態の監視強化	4件の訪問監査実施	○	廃棄物処理委託先の視察・確認等による適正処理実態の監視強化(4件)

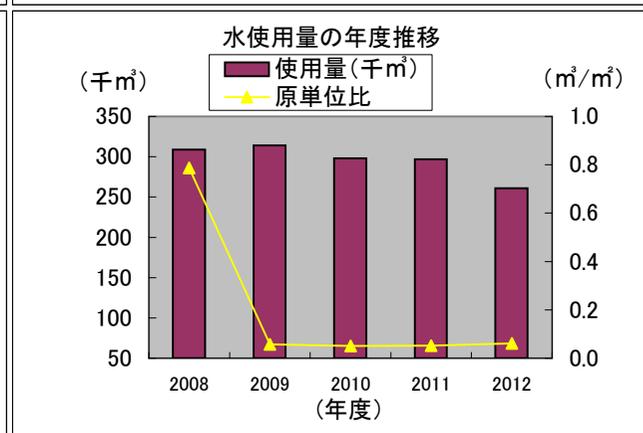
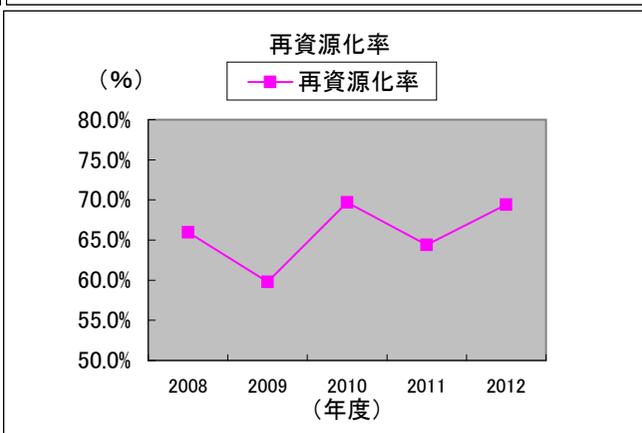
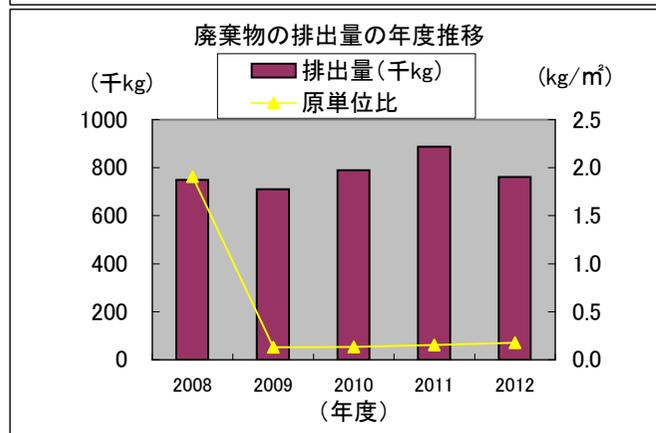
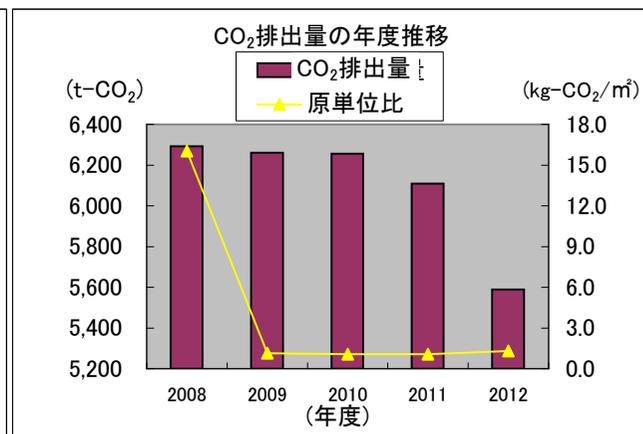
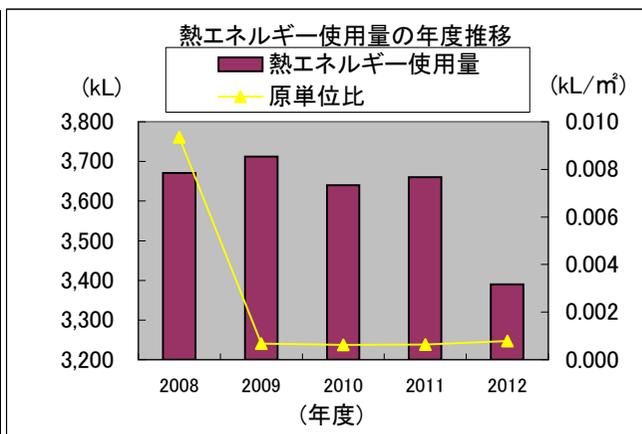
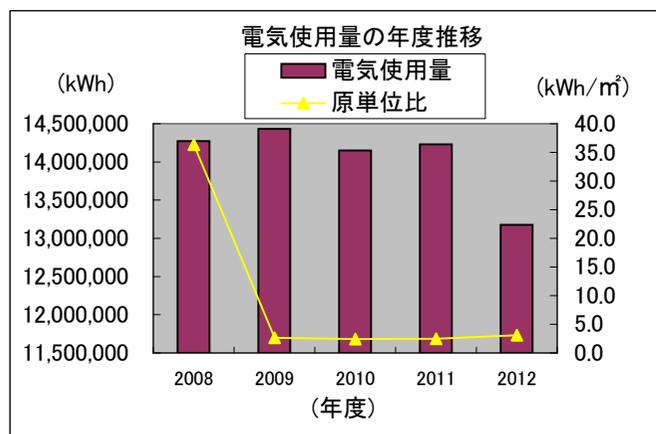
<各報告における注意事項>

- 1 原単位計算について、各工場の原単位の算出方法が異なるため、原単位比に差異があり、工場間での比較はできません。
- 2 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 3 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 4 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 5 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 6 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 7 大阪工場について、原単位算出方法を2009年度から変更したため、原単位比の数値を2008年度と2009年度以降では比較できません。
- 8 タイ工場について、2008年度まではデータを集計しておりませんでした。また、PRTR法規制対象外のため報告から除外しております。

環境負荷データ

工場名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果(最大値、括弧内は法規制基準値)									
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	銅	鉛	BOD	COD	SS	フッ素	ホウ素	リン	n-ヘキサン(鉱油類)
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
堺工場	13,179,012	3,390	5,589	762	529	261	7.2 (5.7-8.7)	2.6(3)	0.05未満 (0.1)	64(300)	120(無し)	65(300)	0.6(15)	—	—	1未満(5)
美原工場							7.5 (5.8-8.6)	—	0.005未満 (0.1)	3.7(35)	4.9(35)	—	0.5(8)	0.3(10)	0.08(8)	1未満(5)
めっきセンター							7.5 (5.8-8.6)	2.8(3)	0.05未満 (0.1)	7(300)	15(無し)	18(300)	0.5(15)	1.8(10)	—	1未満(5)

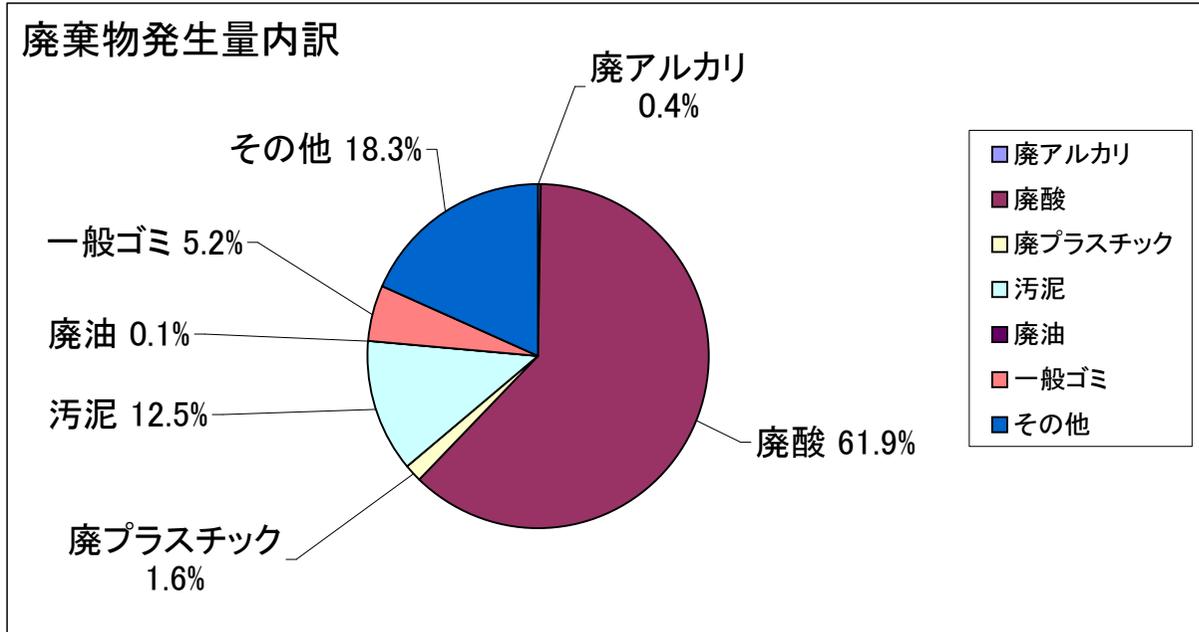
CO₂排出係数: 0.358



※原単位について、2008年は生産面積、2009年～2012年は述べ生産面積となっております。

廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	3	0.4%
廃酸	472	61.9%
廃プラスチック	12	1.6%
汚泥	95	12.5%
廃油	1	0.1%
一般ゴミ	40	5.2%
その他	140	18.3%
合計	762	100%



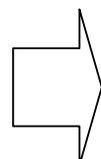
PRTRデータ

単位: kg/年

政令番号	物質名	取扱量(kg)	排出量				移動量			
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
71	塩化第二鉄	410,000	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	33,000	0	0	0	0	0	220	0	220
300	トルエン	1,900	520	0	0	0	520	0	700	700
308	ニッケル	4,400	0	0	0	0	0	49	0	49
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	14,000	0	0	0	0	0	490	0	490

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,317 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油(※1)	13 kL
都市ガス	377 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 km ³
上水・工水	261 km ³
基板コア材	188,551 m ²
段ボール	11 t
化学物質	
PRTR物質	471 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	5,589 t-CO ₂
水域	
河川	69 km ³
下水	193 km ³
廃棄物	
再資源化量	529 t
最終処分量	233 t
PRTR物質移動量	1 t

製品	
プリント配線板	143,945 m ²

※出荷面積

(※1)軽油の数値訂正 26,092(誤)→13(正)

環境実績報告

工場名 : タイ工場

報告範囲 : タイ工場

所在地 : 34/4 Moo4, Yutthasat(331)Road, Bo-win, Sriracha, Chonburi 20230, Thailand

報告対象期間 : 2012年4月1日～2013年3月31日

報告責任者 : 環境管理責任者 Ms.Pasita.S (ISO.Document Control Section Manager)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2013年度目標
1	地球温暖化防止対策	エネルギー原単位(SEC) 39.00kWh/m ² 以下	37.99kWh/m ²	○	エネルギー原単位(SEC) 39.00kWh/m ² 以下
2		CO ₂ 排出規制 1.80kg/m ² 以下	1.47kg/m ²	○	CO ₂ 排出規制 1.80kg/m ² 以下
3		ボイラー燃料 30.0 SCF/m ² 以下	24.54 SCF/m ²	○	ボイラー燃料 30.0 SCF/m ² 以下
4	省エネルギーの推進/水資源の削減	水使用量 0.65 m ³ /m ² 以下	0.63m ³ /m ²	○	水使用量 0.65 m ³ /m ² 以下
5	顧客満足度	環境に関するクレーム0件	1件	×	環境に関するクレーム0件

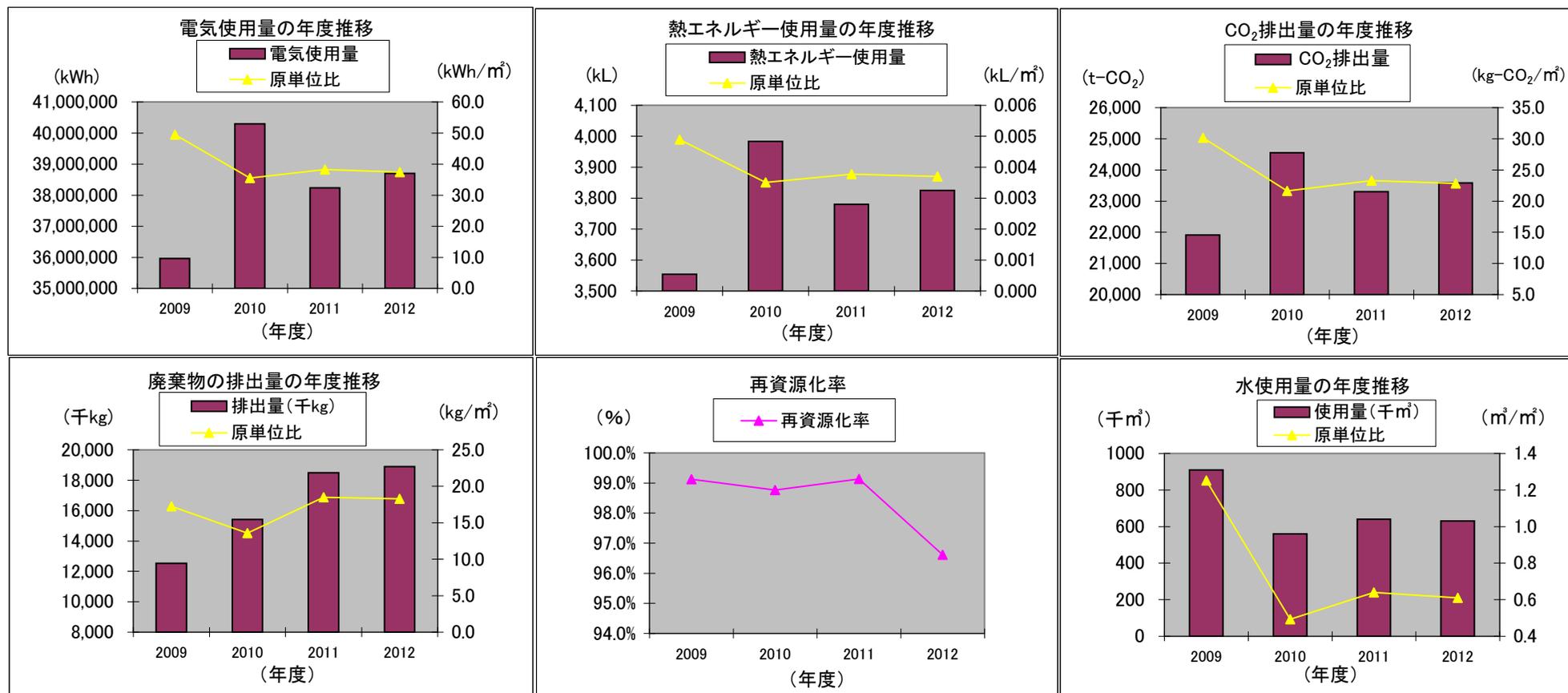
<各報告における注意事項>

- 1 原単位計算について、各工場の原単位の算出方法が異なるため、原単位比に差異があり、工場間での比較はできません。
- 2 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各工場の電力会社・ガス会社により異なります。
- 3 水資源について、各工場の使用水源が異なります。
- 4 水質測定について、各工場所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 5 大気測定について、法規制対象設備が無い工場は報告から除外しております。
- 6 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 7 大阪工場について、原単位算出方法を2009年度から変更したため、原単位比の数値を2008年度と2009年度以降では比較できません。
- 8 タイ工場について、2008年度まではデータを集計しておりませんでした。また、PRTR法規制対象外のため報告から除外しております。

環境負荷データ

工場名	エネルギー			廃棄物		資源	水質測定結果(最大値、括弧内は法規制基準値)			大気の測定実績(最大値、括弧内は法規制基準値)		
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	工業用水	pH	BOD	COD	特定施設名		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)
タイ工場	38,700,000	3,825	23,580	18,900	18,260	630	7.08 (5.5-9)	35.33 (500)	81.58 (750)	14.72(200)	20.73(690)	14.18(320)

CO₂排出係数:0.6093

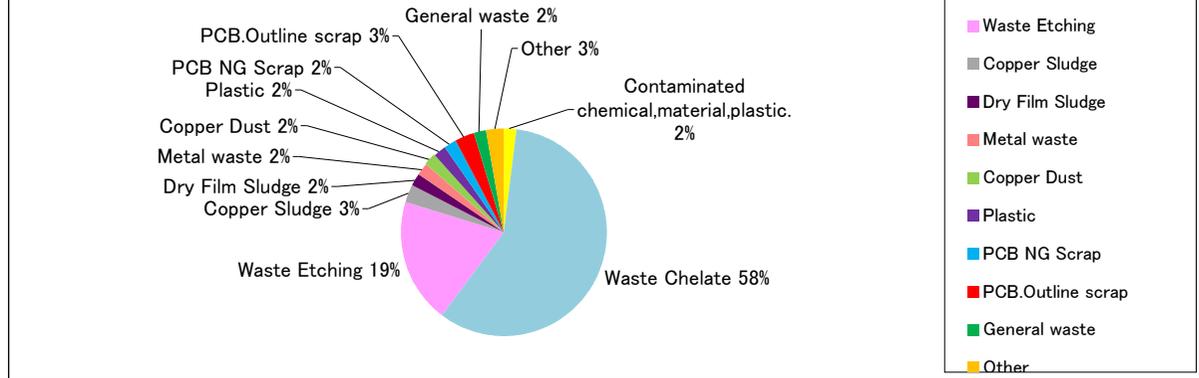


※原単位は、出荷面積です。

廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
Contaminated chemical,material,plastic.	140	0.74 %
Waste Chelate	13,830	73.17 %
Waste Etching	3,230	17.09 %
Copper Sludge	370	1.96 %
Dry Film Sludge	190	1.01 %
Metal waste	240	1.27 %
Copper Dust	50	0.26 %
Plastic	30	0.16 %
PCB NG Scrap	140	0.74 %
PCB.Outline scrap	230	1.22 %
General waste	150	0.79 %
Other	300	1.59 %
合計	18,900	100 %

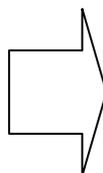
廃棄物発生量内訳



マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	3,870 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	335 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	630 千m ³
基板コア材(※1)	1,287,944 m ²
段ボール	99.65 t

(※1)基板コア材の数値訂正 587,326(誤)→1,287,944(正)



OUTPUT	
大気	
CO ₂	23,580 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	18,260 t
最終処分量	640 t
製品	
プリント配線板	1,019,258 m ²

※出荷面積